

教員名	藤井孝宗	所属学科	国際学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】 本ゼミでは、国際経済学の最新のトピック、問題に対して理論・実証の両面からアプローチし、現在のグローバル化の進展とともに変化していく世界経済状況をどのように理解し、対応すべきか考察することを目指します。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】 2年次の基礎演習においては、まず国際経済学の基本的理論をきちんと把握することを目指し、この分野の一般的な教科書（「国際経済学をつかむ（第2版）」石川城太他、有斐閣）を輪読します。ここで国際経済理論の基本的な考え方、とくになぜ貿易することにメリットがあるのか、比較優位とは何か、貿易政策の効果と影響はどういうものか、等を学びます。 3年次の演習1では、2年次に学んだ基本的理論をもとに、現在の様々な応用的課題について輪読するとともに、グループに分かれテーマを決めて研究を行い、論文作成・研究発表を行います。発表の機会は主に2回、夏合宿と11月 or 12月に開催される他大学とのインターゼミナール発表会です。4年次の演習2においては、専門書の輪読と並行して、これまでの学習成果を踏まえて卒業論文を作成します。2015年度は、夏合宿は学内の3ゼミでの合同発表会を行い、インターゼミナールにおいては法政大学、麗澤大学、横浜国立大学のゼミとの合同研究発表会を予定しています。 合宿、企業・工場見学などその他課外活動などは学生の興味・要望にあわせ随時行います。また、企業訪問なども含めたスタディ・ツアーも希望があれば行います。これまでにバリ島や沖縄などに行きました。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】 グローバル化の進展により、新たな世界経済秩序をどのようなものにするか、は緊急の課題となり、活発な議論、交渉が行われています。しかし残念ながら、この分野において専門知識を持ちかつバランスのとれた議論を行うことの出来る人材は非常に不足しており、理論と現実をバランスよく理解し、客観的議論を展開できる人材はどんな分野でも強く求められています。地域経済が直接グローバル経済にリンクする現代経済においては、地域経済に貢献するためにも国際経済の知識は不可欠でしょう。これからの若者に多くのチャンスが存在する分野です。国際経済の学習を通じ、国際社会や地域社会への貢献を目指してください。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】 石川城太他『国際経済学をつかむ（第2版）』有斐閣</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】 本ゼミはまだ伝統を誇ると言えるほど長く続いているゼミではありません。新しく入る学生が積極的にゼミ運営に関われば様々な新しいことが出来るでしょう。せっかく少人数講義なので、おそれず積極的に活動してみてください。</p>			